

第 5 章

農 業

第 5 章 農 業

概況

大阪府の農業は、都市近郊の立地を活かした施設園芸などにより集約的な農業経営が営まれ、府民へ新鮮な農産物を提供しています。特に、しゅんぎく、つげななどの軟弱野菜やぶどうなどの果樹の栽培が盛んで、全国でも有数の産地となっている。

農地面積は、市街化の進展により減少を続けており、府内全域に占める割合は 8.2%となっている。

また農地は、その約 30%が都市計画法上の市街化区域内に存在しており、農産物の生産基盤であるとともに府民にとって貴重な自然源であり、快適な環境を創造するための極めて重要な自然資源となっている。

農家数

平成 12 年 2 月 1 日現在で実施された 2000 年世界農林業センサスの結果によると、大阪府の農家数は 2 万 9801 戸となっている。これを地域別にみると、最も多いのは南河内地域の 6982 戸(構成比 23.4%)、次いで泉南地域 5085 戸(同 17.1%)、泉北地域 4564 戸(同 15.3%)の順となっており、これら南大阪 3 地域だけで農家数全体の過半数を占めている。

経営耕地面積規模別にみると、0.1ha 以上 0.3ha 未満層の農家が 1 万 5534 戸(構成比 52.1%)で最も多く、0.3ha 以上 0.5ha 未満層が 6977 戸(構成比 23.4%)となっており、農家数全体の約 8 割を 0.1ha 以上 0.5ha 未満層の農家が占めている。

農家を自給的農家と販売農家とに区分すると、自給的農家が 1 万 5189 戸(構成比 51.0%)、販売農家は 1 万 4612 戸(同 49.0%)で、販売農家を専業農家と兼業農家とに区分すると、専業農家は 2161 戸(構成比 14.8%)、兼業農家は 1 万 2451 戸(同 85.2%)である。兼業農家のうち第一種兼業農家は 1673 戸(同 13.4%)で、第二種兼業農家は 1 万 778 戸(同 86.6%)となっている。

農家人口

農家世帯員数は、13 万 5751 人で、男性が 6 万 5573 人、女性が 7 万 178 人である。このうち販売農家世帯員数は、6 万 9803 人で、自営農業従事者数は 4 万 5126 人(販売農家世帯員数の 64.6%)である。

自営農業従事者のうち、自営農業だけを行っているのが 2 万 5265 人で自営農業とその他の仕事を行っている人は、1 万 9861 人になっている。

経営耕地面積

経営耕地面積は、1 万 1224ha となっている。

これを内訳別にみると、田は 8734ha(構成比 77.8%)、畑は 1127ha(同 10.0%)、樹園地は 1362ha(同 12.1%)となっている。

また、農家 1 戸当たりの経営耕地面積は、37.7a となっている。

収穫量

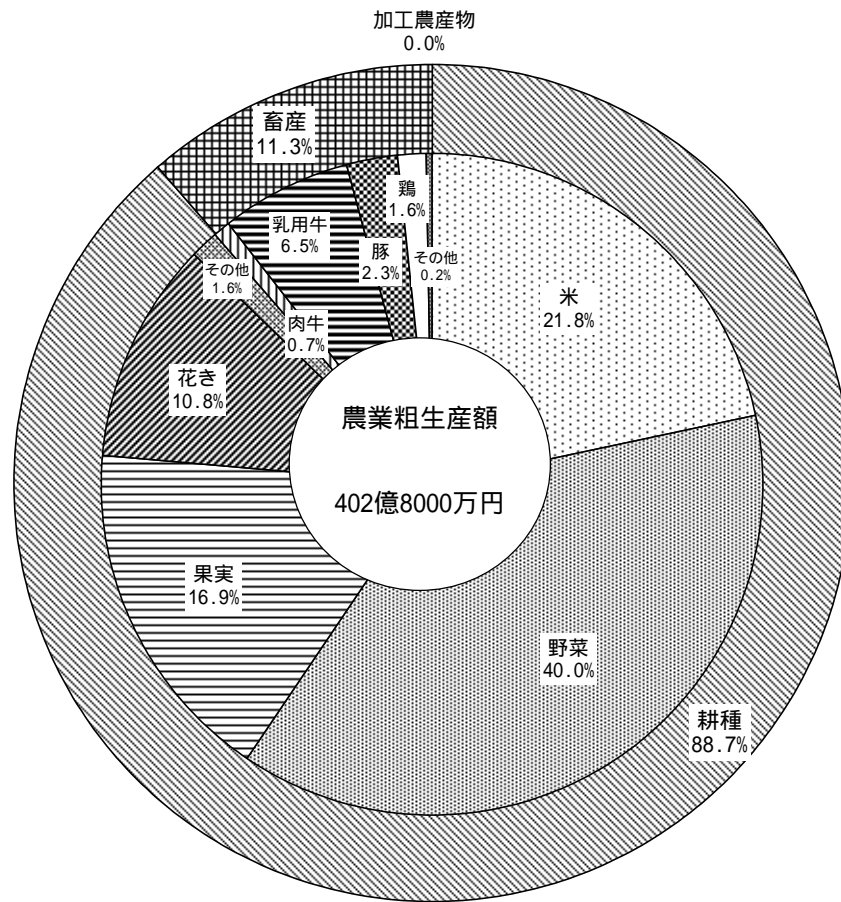
府内の主要農作物の収穫量では、水稻が 3 万 2600t と最も多く、温州みかん 1 万 9300t、キャベツ 1 万 6100t、たまねぎ 9480t の順となっている。

農業粗生産額

平成 12 年の農業粗生産額は 376 億 5000 万円であった。

これを部門別にみると、最も多いのは野菜の 141 億 8000 万円(構成比 40.0%)で、以下、米の 81 億 9000 万円(同 21.8%)、果実の 63 億 7000 万円(同 16.9%)、畜産の 42 億 5000 万(同 11.3%)、花きの 40 億 6000 万円(同 10.8%)の順となっている。

農 業 粗 生 産 額 の 構 成 (平 成 12 年)



経営耕地面積規模別農家数の割合 (平 成 12 年)

